

自立活動だより

06



医療専門職派遣事業を活用した外部専門家との連携 — ST（言語聴覚士）との連携 —

医療専門職派遣事業を活用した言語聴覚士（ST）との連携を、今年度は年5回実施しています。言語発達や構音機能、摂食や嚥下機能等に関するアセスメントと、指導のステップや手立ての工夫について、専門的な視点から助言をいただき、自立活動「コミュニケーション」や「人間関係の形成」等の視点をもって、日々の指導に活かしています。

自立活動「コミュニケーション」及び「人間関係の形成」に視点を当てて

特別支援学校の「自立活動」6区分27項目の中には、「コミュニケーション」の指導領域があります。その中でも、一番の基礎的能力として、相手に伝えようとする大切さや、伝える内容を広げ、伝える手段を育むことの大切さが挙げられています。

「伝わって嬉しい」「人に伝えたい」という意欲や関係性を育むことを土台に、音声や話し言葉、文字等の習得をねらい、指導を進めています。



自立活動「コミュニケーション」

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
- (2) 言語の受容と表出に関すること。
- (3) 言語の形成と活用に関すること。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。



自分で発音を確かめよう



コミュニケーション

人間関係の形成



しっかり噛んで食べよう



大きく口を動かそう



ICTを活用し、「読めてる?」「Vosual」等のアプリを使って、楽しくゲーム感覚で言葉の学習をしたり、発音を自分で聞いて修正し、自分で学習したりする方法を教えてくださいました。

身体の動き

環境の把握



言語聴覚士 大塚先生による講演

「言語・コミュニケーションの発達に関するアセスメントと指導の実際」



11月に、言語聴覚士 大塚先生より、言語・コミュニケーションの発達のアセスメントと、個に応じた指導方法に関する御講演をいただきました。言語発達のステップを踏まえた指導方法や、障害によってアプローチの仕方が異なること、母音や子音等、様々な言語音をどのように獲得していけばよいか等、多くの内容を学びました。